

4to5PCD CHANGER 4H100⇒5H114.3

構成部品及び付属品

- この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- ご使用前に必ず本書の内容をよくお読みになり、理解してからご使用くださいようお願い申し上げます。
- 本製品は、以下の部品、付属品で構成しています。
- 最初に内容をご確認いただき、不足していたり、製品に不具合がある場合は販売店もしくは弊社までご連絡下さい。



Aプレート 2枚入り



Bプレート 2枚入り



プレートボルト(ロング)
10本入り



フラワーナット
純正ネジピッチ
8個入り



フラワーナット
工具 1個入り



Aプレート2の穴用
ショートボルトP1.25
6本入り



Bプレート2の穴用
フラワーナットP1.25
6個入り

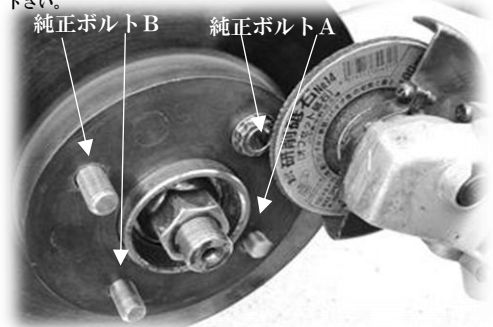


ゲージ用
フラワーナット
純正ネジピッチ
2個入り

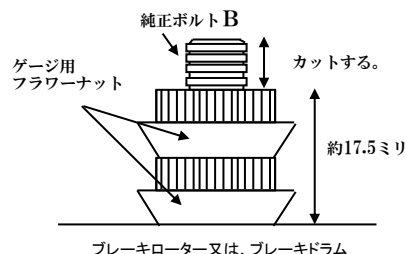
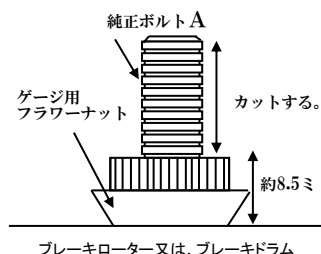
取付方法

1・純正ハブボルトの加工

- 純正ハブボルトの長さを変更します。
- ※サンダーなどで丁寧に切断します。
- この際ハブボルトの位置に十分注意して下さい。
- ※純正ハブボルトのカット位置を間違えますと組立が出来ないばかりかハブその物の分解/組立が必要になります。十分ご確認の上作業を行って下さい。



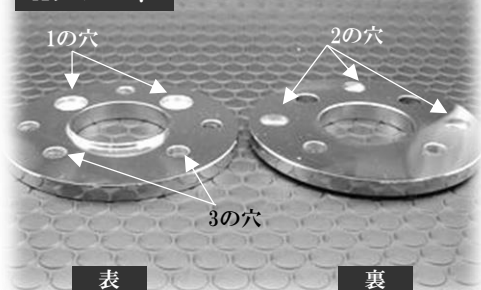
純正ハブボルトの加工方法



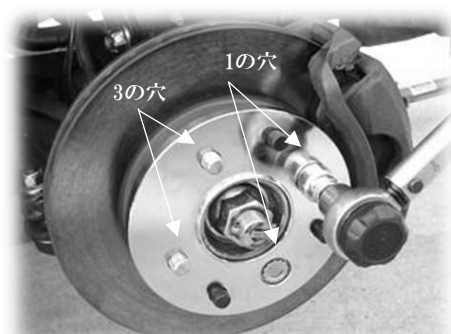
- 純正ハブボルトA (2箇所) をフラワーナットで軽く固定しておきます。フラワーナットから出た純正ハブボルトをカットします。(ローター面から約8.5mm残す)
※純正ボルトがAプレート面より必ず飛び出ない様に加工して下さい。(図1参照)
- 純正ハブボルトB (2箇所) をフラワーナットで軽く固定しておきます。フラワーナットから出た純正ハブボルトをカットします。(ローター面から約17.5mm残す)
※純正ボルトがBプレート面より必ず飛び出ない様に加工して下さい。(図1参照)

警告 ボルトの切断作業は、危険が伴いますのでケガをしないように十分に御注意下さい

Aプレート



2・Aプレートの取付け

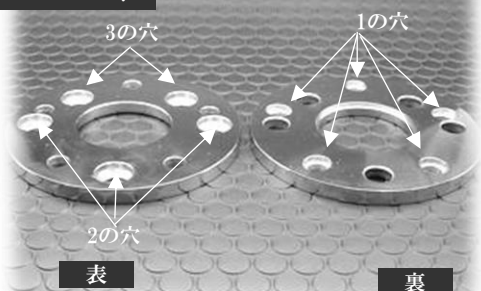


●Aプレート穴の説明

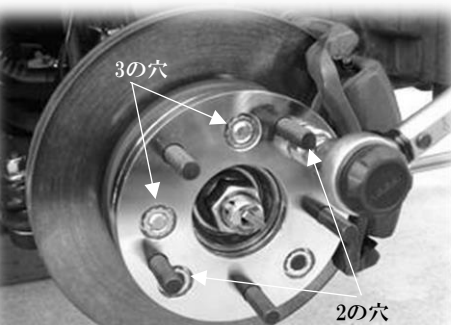
- 1の穴は、PCD100で純正ボルトAを通しフラワーナットで固定する穴です。(2箇所)
- 2の穴は、PCD114.3でプレートボルトショート(P1.25)が入る穴です。(3箇所)
- 3の穴は、PCD100で純正ボルトBを通すφ12mmのストレート穴です。(2箇所)
- Aプレート2の穴3箇所(PCD114.3)に裏側からプレートボルトショート(P1.25)をハメ込みます。
- ※ボルト穴とボルトは必ず楕円形状に合わせて取付けて下さい。

- ブレーキローターの上からAプレート1と3の穴4箇所に通した純正ボルト(PCD100)を通し、車両に取付けます。
- 1の穴2箇所をフラワーナット(純正ネジピッチ)で固定します。
- 付属のフラワーナット及び工具は、最大締め付けトルクが18kg-m以下に設定されています。規定トルク(10~12kg-m)以上のトルクで締め付けたり、誤った使用をすると破損しますのでご注意ください。(図4参照)
- ※必ずトルクレンチを用いて規定トルク(10~12kg-m)で締め付けて下さい。
- ※インパクトレンチやクロスレンチは絶対に使用しないで下さい。

Bプレート



3・Bプレートの取付け



●Bプレート穴の説明

- 1の穴は、PCD114.3でプレートボルトロングが入る穴です。(5箇所)
- 2の穴は、PCD114.3でAプレートのプレートボルトショート(P1.25)を通しフラワーナット(P1.25)で固定する穴です。(3箇所)
- 3の穴は、PCD100でAプレートから出ている純正ボルトBを通しフラワーナットで固定する穴です。(2箇所)
- Bプレート①の穴5箇所(PCD114.3)に裏側からプレートボルトロングをハメ込みます。
- ※ボルト穴とボルトは必ず楕円形状に合わせて取付けて下さい。

- Aプレート2から出ているプレートボルト(P1.25)3箇所と3から出ている純正ボルト2箇所(PCD100)計5箇所を合わせてBプレートをAプレートに重ねフラワーナットで固定します。3箇所は(P1.25)2箇所は(純正ネジピッチ)(図3参照)
- フラワーナット及び工具は、最大締め付けトルクが18kg-m以下に設定されています。規定トルク(10~12kg-m)以上のトルクで締め付けたり、誤った使用をすると破損しますのでご注意ください。(図4参照)
- ※Bプレート2・3の穴から出るプレートボルトショート及び純正ボルトがBプレート面より必ず飛び出ない様に加工して下さい。
- ※インパクトレンチやクロスレンチは絶対に使用しないで下さい。



④ホイールの固定

- Bプレート①の穴から出ているプレートボルト5本（PCD114.3）にホイールを取付け固定します。（図3参照）
- ※必ずトルクレンチを用いて規定トルク（10～12kg-m）で締め付けて下さい。
- ※インパクトレンチやクロスレンチは絶対に使用しないで下さい。
- ホイールを取付け、ホイールナットを手で均等に締め付けます。
- ※スタッドボルト折損等を防止する為、必ず手で締め付けて下さい。
- ホイールを回転させ、位置を変えながらレンチ等を用いてホイールナットを仮締めします。
- 車両を降ろして、トルクレンチを用いて規定トルクで締め付けます。【規定トルク=10～12kg-m】
- ※ホイールの歪等を防止する為、対角線の順序で2～3回に分けて締め付けて下さい。
- ※トルクレンチを用いずに締め付けると、トルク不足による緩みや、締め過ぎによるスタッドボルトの折損等の原因となります。
- 装着後、車両を前後させ、再度規定トルクで締め付けます。

注意事項

警告

- 製品装着の際には、必ずトルクレンチを使用して確実に締め付けて下さい。【規定トルク=10～12kg-m】
- 運転前、運転後に必ず増し締め（締付け確認）を行って下さい。
- 装着前に必ず取付け面をワイヤーブラシ等で砂、ゴミ、錆等を落としてから装着して下さい。
- 純正ハブボルト及びプレートボルトがスペーサー表面より突出しない様に加工して下さい。（図1参照）
- 走行中に異常な音又は振動及び異常な挙動を感じた場合は、速やかに安全な場所に停車し、車両及びスペーサーを点検して下さい。また、その場で異常を発見できなかった場合でも、速やかに車両の使用を中止し、専門店へ点検を依頼して下さい。
- ※点検・検査費用は、お客様でご負担下さい。
- タイヤホイールに強い衝撃を受けた場合、スペーサーに無理な力が掛かり、そのまま使用すると破損等を起こし、事故につながる恐れがある為、その製品は絶対に使用しないで下さい。再使用する場合は、必ず当社に検査をご依頼下さい。
- ※検査依頼の発送費用は誠に勝手ながら、お客様でご負担下さい。また検査費用は有償の場合があります。詳細は当社までご相談下さい。
- スペーサーの厚みやホイールのオフセット等によって、車両に装着不可能な（フェンダーより突出する・タイヤハウスに接触する）場合がありますので、必ずご確認の上ご使用下さい。
- スチールホイールは取付け面が平面でない為、ご使用になれません。
- 本製品は、軸重が1500kgを超える車両にはご使用になれません。
- ボルトはめ込み式スペーサーのボルト取付け穴とボルトは、必ず楕円形状を合わせて取付けて下さい。
- ご使用になるホイールナットが袋ナットの場合、締め付けの際にスタッドボルトが袋部分に接触し、完全に締め付けられない場合がありますので必ずご確認下さい。また、その場合は、市販の貫通ナットをご使用下さい。
- 車両によって、ブレーキローター表面にビスが突出している場合があります。その場合はビスを除去しても問題ないかをご確認の上、問題ない場合はビスを除去してご使用下さい。
- 本製品は、ディスクブレーキ車専用設計されており、ドラムブレーキの車両には使用しないで下さい。（ブレーキドラムの取付け面にオモリなどがある場合があるため）また、ディスクブレーキ車の場合でも、取付け面に凹凸がある場合はご使用になれません。
- プレートの車両側間に別のスペーサーを入れないで下さい。またアジャストプレート以外のスペーサーをプレートの前後に入れないで下さい。（図2参照）

注意

- 本製品は競技専用部品の為、一般公道での使用は絶対に行わないで下さい。また、クレーム、返品には応じかねます。
- 取付け、取扱い上の誤り、または不当な改造を施している車両へ取付けた場合の故障及び破損については、一切保証致しません。あらかじめご了承下さい。
- ホイールやスペーサーの取外しにインパクトレンチを使用しないで下さい。破損の原因となります。また、取付けは必ずトルクレンチを用いて、対角線の順序で2～3回に分けて規定トルク（10～12kg-m）で締め付けて下さい。（図3参照）
- 付属のフラワーナット及び工具は、最大締め付けトルクが18kg-m以下に設定されています。
- 規定トルク（10～12kg-m）以上のトルクで締め付けたり、誤った使用をすると破損しますのでご注意ください。（図4参照）
- ※必ずトルクレンチを用いて規定トルク（10～12kg-m）で締め付けて下さい。
- ※インパクトレンチやクロスレンチは絶対に使用しないで下さい。
- ※フラワーナット締め付け工具は、差込部が9.5mmのトルクレンチをご使用下さい。
- 差込部が12.7mmのトルクレンチを使用する場合は、凸9.5mm凹12.7mmの変換アダプターが必要になります。
- 付属の打替ボルトは汎用品の為、車種や車両の固体差により圧入しにくい場合があります。
- ※純正品とスプラインの形状は異なります。
- スライドドアの車両に取付ける際、スライドドアが閉閉しなくなる場合がありますのでタイヤのはみ出しに注意して下さい。
- トヨタ車アルミホイールの場合、純正ホイールナットがテーパー形状になっておりませんので、装着の際に確実にセンターを出さないとハンドルぶれの原因となります。また、テーパー形状の物でも確実にセンターを出さないとハンドルぶれの原因となります。

嚴重注意

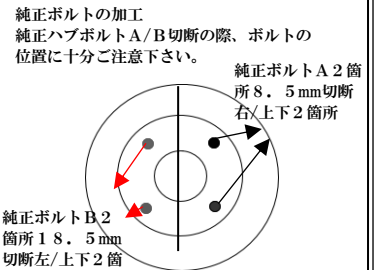


図.1 純正ボルトの加工

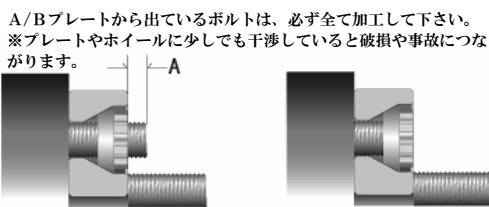


図.3 プレート/ホイールの締め付け順序

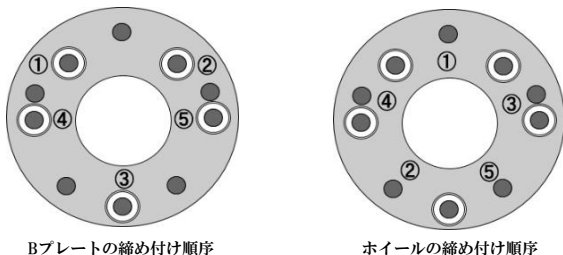
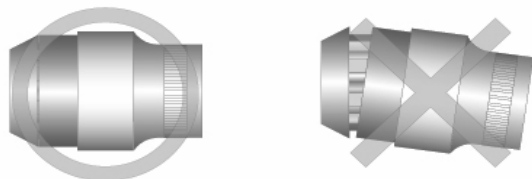


図.2 アジャストプレートの位置



図.4 フラワーナット工具の正しい使い方



URL <http://www.gto-ro.com> E-Mail info@gto-ro.com

有限会社グローバルテイキングオフィス 〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-2-4 TEL:045(912)7892 FAX:045(914)3951